

栃木県知事 福田 富一 様

2021年4月19日

日本共産党栃木県委員会
委員長 小林 年治
日本共産党栃木県議団
代表 野村 せつ子

養豚農場における豚熱発生に対する緊急要望書

4月17日、那須塩原市の養豚農場で県内初の家畜伝染病豚熱（CSF）の発生が報告されました。2つの農場と1関連農場合わせて3万7千頭の殺処分が開始されていますが、殺処分頭数は国内最大規模とのことです。県内では予防的に飼育豚のワクチン接種や野生イノシシの経口ワクチン散布などを実施してきましたが、飼育豚への感染を防ぎきれませんでした。発生原因、感染経路とともにこれまでの対策の検証など徹底調査が必要です。県内では136農場で40万頭を超える豚が飼育されており、これ以上感染を広げないための防疫体制強化が急がれます。また養豚農家の経営を守り、営農意欲を減少させないためにも被害農場に対する万全の支援策を講じる必要があります。ついては、以下のとおり緊急要望します。

1. 国・農水省に対し、発生原因、感染経路等の早期解明に全力をあげるとともに、さらなる感染拡大を防止するため、国が全面的に責任を持ち、あらゆる人的資源を集中して防疫対策を徹底することを強く要望すること。
2. 被害農家・事業者に対し被害額に見合う全額の補償、営農再開に向けた支援を行うこと。とくに殺処分家畜手当金・特別手当金の評価額については農家の被害を十分補えるものにし、新たに豚を購入し、子豚を出産させ出荷するまでを視野にした支援を行うこと。
3. 被害農家が経営再生や資金繰りのため各種融資等を受ける場合、制度の要件を緩和し、実質無利子・無保証で融資を受けられるよう県として利子補給、保証料負担を行うこと。
4. 防疫や殺処分業務にあたる県担当部局職員や家畜保健衛生所の獣医師、家畜防疫員等の安全、健康、メンタルヘルスに十分配慮し、職務にあたるようにすること。

以上